



フードイノベーション創出支援事業について

SHIKOKU
FOODTECH

2026年4月

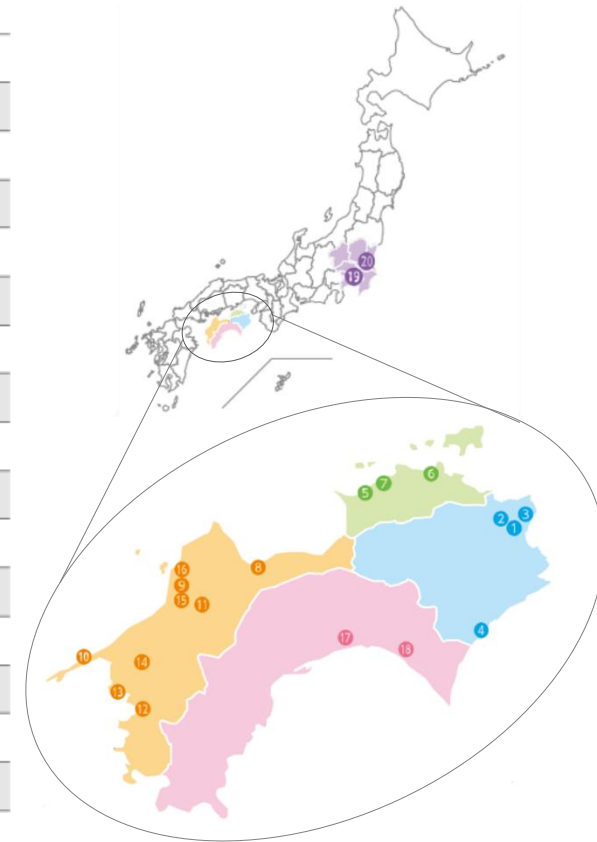
四国経済産業局

地域経済部 製造産業・情報政策課

四国発のフードテック

豊富な一次産品に恵まれており、
様々なフードテック企業が集積している。

	会社名	取組事例	分類	
徳島	①株式会社セツロテック	さまざまな生物でのゲノム編集	生産/次世代食品(ゲノム編集)	p06
	②株式会社ふじや	たかきびを使用したプラントベースフードの開発	生産/次世代食品(代替タンパク質)	p08
	③株式会社マルハ物産	水煮技術で大豆異を大幅低減した植物由来の代替肉、大豆ミート	生産/次世代食品(代替タンパク質)	p10
	④株式会社リブル	「超高品質の種苗の提供」と「社員のスマート養殖化」	生産/スマート農業・水産業(自動化、センシング)	p12
香川	⑤大倉工業株式会社	未利用資源からの加圧熱水抽出法特異の機能性成分抽出	廃棄/再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p14
	⑥株式会社四国総合研究所	国産ライチのスマート栽培技術の開発と社会実装に向けた活動	生産/スマート農業・水産業(自動化、センシング)	p16
	⑦株式会社レアスウィート	希少糖を使った商品開発の推進	消費/ヘルスケア(機能性食品)	p18
愛媛	⑧株式会社愛翔	うちめき水を使用した植物工場の取り組み	生産/スマート農業・水産業(植物工場)	p20
	⑨株式会社愛南リベラシオ	養殖魚の免疫の維持を確保する機能性物質「シルクロース」の開発	生産/次世代食品(昆虫飼料、高付加価値飼料)	p22
	⑩伊方サービス株式会社	柑橘を利用した機能性食材の創出	消費、廃棄/ヘルスケア(機能性食品)、再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p24
	⑪株式会社wead	紙・生分解性プラスチックを分解促進させる資材「greevy」	廃棄/再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p26
	⑫株式会社宇和島プロジェクト	みかん魚開発プロジェクト	生産、廃棄/次世代食品(高付加価値飼料)、再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p28
	⑬株式会社JABURO	0(ゼロ)魚粉飼料真鯛(マダイ)	生産/スマート農業・水産業(自動化、センシング)	p30
	⑭仙味エクス株式会社	酵素分解技術による商品開発	消費、廃棄/ヘルスケア(機能性食品)、再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p32
	⑮株式会社中温	SDGs目標の達成を目指した「低温冷蔵ショーケース」	保存/保存技術(鮮度保持)	p34
	⑯ユニテッドシルク株式会社	国産シルクの一気通貫生産・加工体制構築による多用途展開ビジネス	生産、消費/次世代食品(代替たんぱく質)、ヘルスケア(機能性食品)	p36
	高知	⑰兼松エンジニアリング株式会社	未利用バイオマスの有効活用を実現するマイクロ波加熱応用技術	廃棄/再資源化・ロス削減(アップサイクル)
⑱合同会社シーベジابل		海藻の陸上栽培および海面栽培の取り組み	生産/スマート農業・水産業(陸上栽培、海面栽培)	p40
開東	⑲株式会社サンシキ	海藻「カギケノリ」でメタンの削減に挑む	生産/スマート農業・水産業(陸上養殖)、次世代食品(高付加価値飼料)	p42
	⑳株式会社東京バル	栄養と美味しさの両立を実現するアップサイクル&プラントベース食品	廃棄/再資源化・ロス削減(アップサイクル)	p44



充実した公設試の支援体制

- ✓ 各県の公設試に食品関連部門があり支援体制も整備。食関連の先端研究も盛ん。

徳島県立
工業技術センター

香川県
産業技術センター

愛媛県
産業技術研究所

高知県
工業技術センター

スタートアップの集積

スタートアップの成功モデルを創出するために設立された「J-Startup」の四国地域版（J-Startup WEST）において、選出企業の中にも多くフードテック企業がみられる。

第1次選定企業11社（令和5年度）

所在地	選定企業名	所在地	選定企業名
徳島県	株式会社 SmartLaser&Plasma Systems	香川県	株式会社 Raise the Flag.
徳島県	株式会社 セツロテック	愛媛県	オプティウム・バイオテクノロジー株式会社
徳島県	株式会社 電腦交通	愛媛県	ユナイテッドシルク株式会社
徳島県	株式会社 リブル	愛媛県	株式会社 わっか
香川県	株式会社 XEN GROUP	高知県	合同会社 シーベジタブル
香川県	株式会社 未来機械		

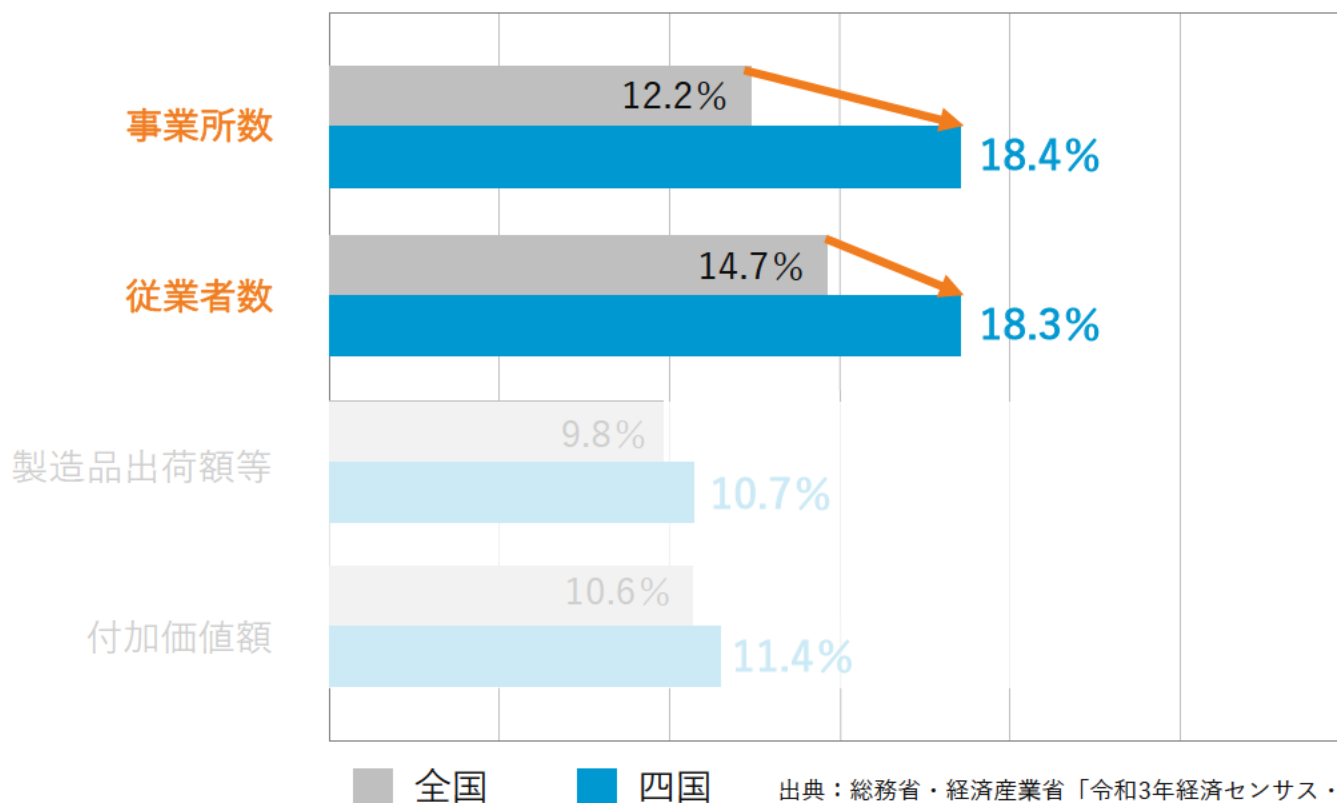
第2次選定企業14社（令和6年度）

所在地	選定企業名	所在地	選定企業名
徳島県	株式会社 amidex	香川県	株式会社 Soilook
徳島県	株式会社 Egret・Lab	香川県	株式会社 Japan Fruits
徳島県	イツモスマイル株式会社	香川県	DO・CHANGE株式会社
徳島県	株式会社 クロスメディシン	香川県	日本ルースト株式会社
徳島県	株式会社 サウスウッド	香川県	株式会社 ミトラ
徳島県	小胞体ストレス研究所株式会社	愛媛県	株式会社 WiseVine
香川県	合同会社 Setolabo	高知県	株式会社 サンシキ

四国の現状

- ✓ 四国地域には、全国的にも競争力の高い農産物や水産物などの一次産品が豊富に存在しており、これらを活かした食料品製造業は地域の製造業において重要な位置を占めている。
- ✓ 事業所数や従業者数の割合は全国平均を大きく上回っていることから、地域経済への貢献度の高さがうかがえる。

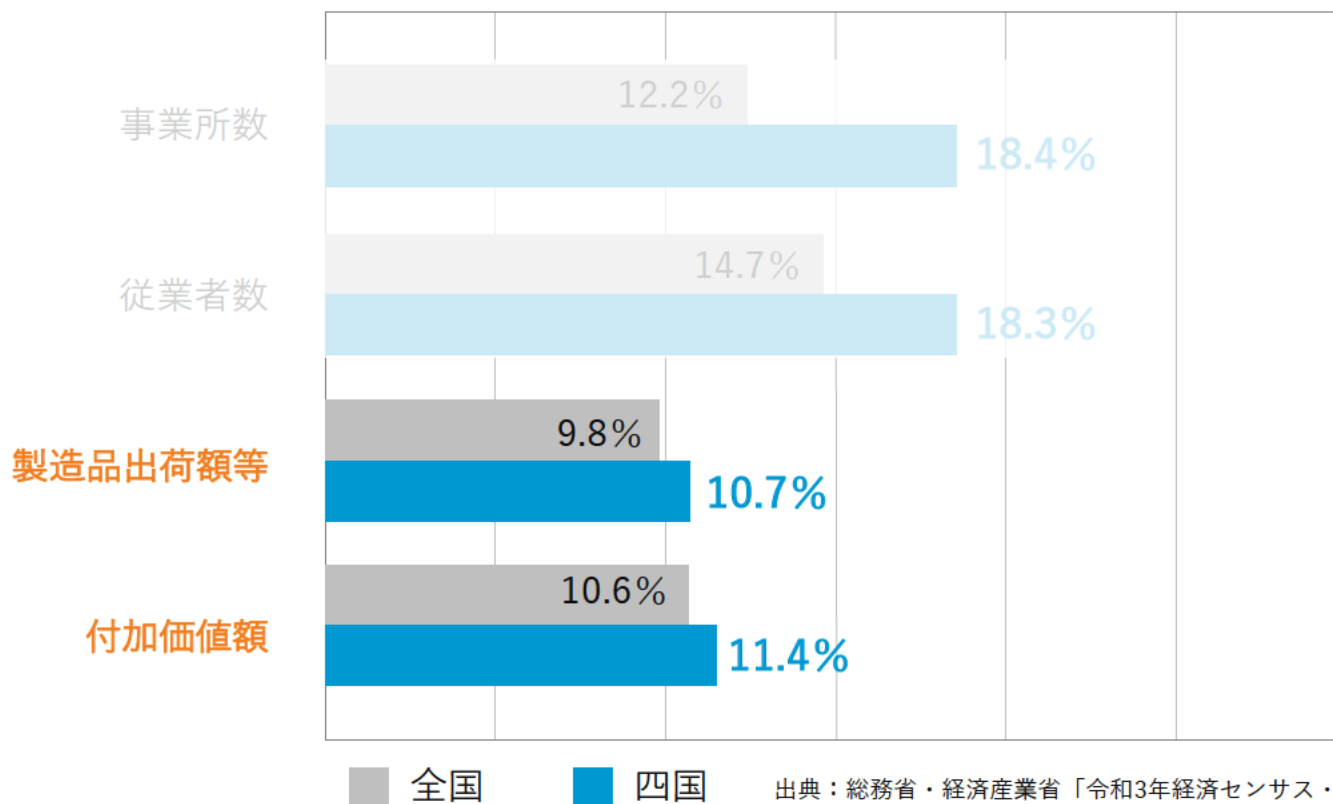
製造業のうち「食料品製造業」が占める割合



四国の課題

- ✓ 一方で、**製造品出荷額**や**付加価値額**は、**全国との差は小さく**、一次産品が原材料のまま出荷される傾向が強い。
- ✓ 一次産業に連なる二次産業（加工・製造業）の発展に十分に結びついておらず、**地域内での付加価値創出**や**雇用拡大を妨げる要因**となっている。

製造業のうち「食料品製造業」が占める割合



令和6年度の取り組み

- ✓ 四国地域におけるフードテックに関する調査、検討会を実施し、四国地域の活性化に向けて、四国地域の優位性を活かしたエコシステム構築を見据えた基盤作りを目指した。

R6

R7

R8

初年度の取組

- 基礎調査
- 事例集作成
- セミナー・展示会開催
- 社会受容性向上活動
- 技術マッチング
- 推進検討会・分科会

四国の強み

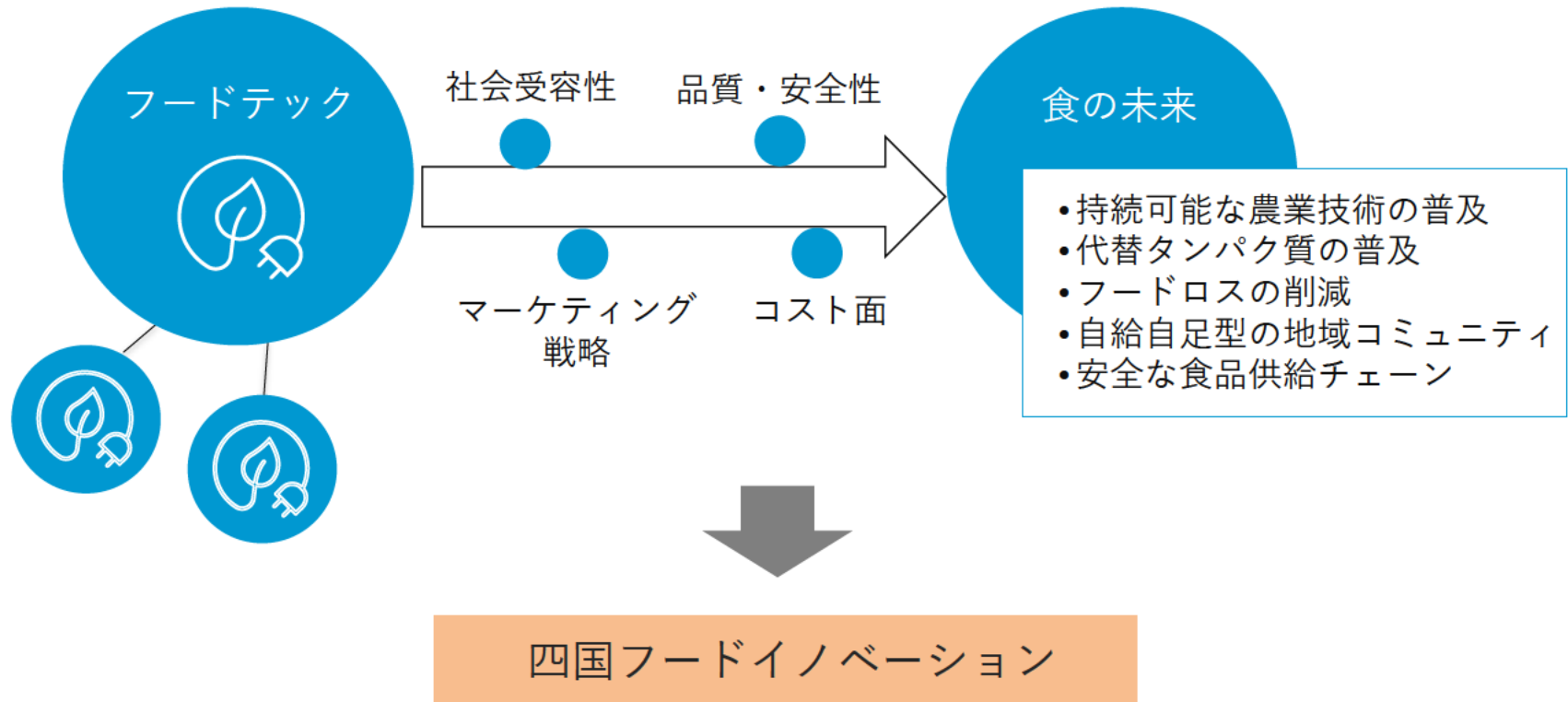
- ✓ スタートアップから大企業まで、食の課題解決に取り組む企業が集積している。
- ✓ 公設試の「食」分野の支援体制が充実している。

四国の課題

- ✓ 中小食品関連企業ではプロダクトアウトな開発アイデアが多く、作りたいものと売れるもの間にズレが発生することがある。
- ✓ 技術開発や製品化を行う段階で、市場トレンドの分析や消費者の潜在ニーズの掘り起こしを行い、マーケットインの視点を取り入れ販路を拡大するべきではないか。
- ✓ フードテックの推進には、「テクノロジー」の磨き上げだけではなく、ビジネスモデル、マーケティング戦略、品質・安全性、消費者ニーズなど多角的な視点が必要。

令和7年度の取り組み

- ✓ フードテックの活用による「食分野の社会課題解決」を出発点とし、その過程で発生するさまざまなハードルに対して、テクノロジーだけでなく多角的な視点から革新を図ることで、新たな価値を創造し、市場を形成する。この一連の流れが「フードイノベーション」であり、未来の食の在り方を形づくる鍵となる。



令和7年度の取り組み

- ✓ 昨年度の基礎調査で多く意見のあった「技術の社会実装にかかるマーケティング戦略」に重点をおいた支援を実施し、四国を牽引するイノベーション企業の創出を目指す。
- ✓ また、持続的な支援体制の構築に向け、産学官のネットワークの形成を目指す。

R6

基礎調査

- 事例集作成
- セミナー・展示会開催
- 社会受容性向上活動
- 技術マッチング
- 分科会・推進検討会

R7

①マーケティング戦略策定支援

- ワークショップ
- 専門家との個別面談
- テストマーケティング
- ピッチイベント

②ブランディング

- 技術ブランディング
- 四国地域全体のブランディング

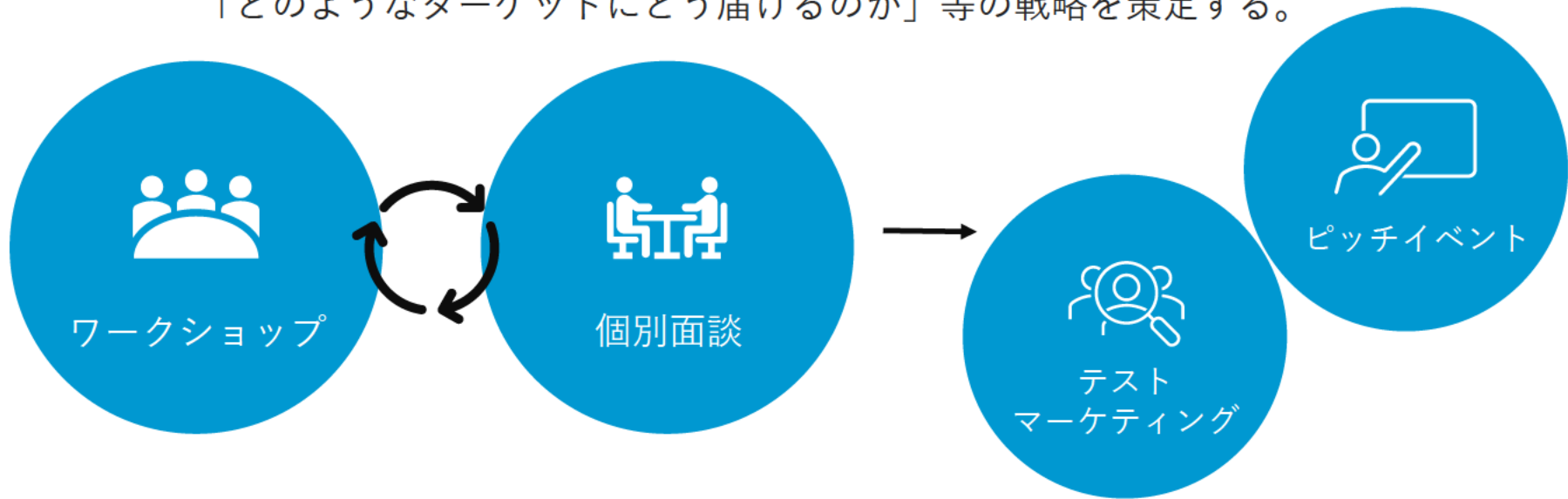
③コミュニティの形成

- 研究機関のハブ機能の構築
- 四国域内のコミュニティ形成
- 域外拠点とのコミュニティづくり

R8

①マーケティング戦略策定支援

消費者行動や市場の変化を踏まえ、
「企業が消費者や社会へ提供したい価値とは何か」、
「どのようなターゲットにどう届けるのか」等の戦略を策定する。



全10社合同で
ワークショップを実施。

- ・最新動向やマーケティング
- ・新事業展開や新規顧客開拓
- ・自社の現状把握
- ・発信方法の仮説構築等

ワークショップの
進行に合わせて、
専門家との面談を実施。
個社ごとの戦略策定を行う。

実証の場として、
大手小売や食品企業等を集客し、
テストマーケティング及び、
マッチングを目的とした
ピッチイベント行う。

①マーケティング戦略策定支援

ワークショップ

全10社合同でワークショップを実施。

(最新動向やマーケティング／新事業展開や新規顧客開拓／自社の現状把握／
発信方法の仮説構築等)

日時	タイトル	内容	場所
9/1(月)	「全ての事業は「問い」から始まる」 地域性と自社起点の再解釈 (自己分析)	自らがなぜ事業に取り組むのか、その“問い”を明確化する。QPMI (Question, Passion, Mission, Identity) の枠組みを用いて、地域資源や社会的背景と照らしながら、事業の起点を再解釈する自己分析型セッション。	四国経済産業局 (高松市)
10/1(水)	「顧客との接点構築とアーリーアダプターの視点」 市場仮説の構築/SNSとユーザー調査	ターゲット顧客像の仮説を構築し、SNSやアンケート手法を用いた顧客理解に挑戦。UnlocXによる調査設計の支援を通じ、アーリーアダプターの視点で“誰に届けるか”を言語化する実践的ワークを行う。	P・SPO Cafe&Event (松山市)
11/13(木)	「検証と発信戦略のプロトタイプ化」 発信方法の構築と仮説検証	第1・2回で得られた問いと仮説をもとに、ストーリー設計や発信チャネル選定を行い、プロトタイプ的な発信戦略を構築する。実証・テストマーケティングを見据え、表現と手法の検証設計を行う。	四国経済産業局 (高松市)
12/9(火)	「成果の可視化とプレゼンテーション」 自社変容と戦略発表	ワークショップ中に育ててきた価値創造の成果を、ピッチ形式で発表。表現内容を他者からのフィードバックにより磨き上げ、最終的にテストマーケティングや展示会での実証に向けた発信力強化を目指す。	愛媛県県民文化 会館 (松山市)
1/28(水)～ 1/30(金)	テストマーケティング	ポップアップイベントを開催し、アンケート調査やポップアップに対するSNS反応調査を用い、仮説の検証を行う。	Sustainable Food Museum (東京都)
2/17(火)	成果共有・次の一步に向けた 報告会	ピッチイベント及びテストマーケティングを経て、どのような手応えや課題が見えたかについて、可視化・共有する。	Fantudio Takamatsu (高松市)

①マーケティング戦略策定支援

テストマーケティング

- ✓ ワークショップを通じて構築した「誰に、どのような価値を提供するのか」という仮説を実際に検証・ヒアリングすることを目的として実施

【日 時】 2026年1月28日(水)～30日(金)

【場 所】 Sustainable Food Museum (東京都港区西新橋)

【参加者】 50名 (食品メーカー、シェフ、小売業、編集プロダクション、行政等)

【出展社】 以下7社

実施企業	内容
株式会社四国総合研究所／ 株式会社富士クリーン	スマート栽培による希少国産ライチを用いた シャーベット
株式会社ウルバ	海藻由来の酒ゼリー
株式会社セツロテック	独自酵母を活用したクラフトビール
株式会社ゆうぼく	付加価値を高めたブランド「はなが牛」
株式会社セトラスフードテック	県内産の原材料にこだわったしょうゆ豆
株式会社XEN GROUP	独自の品質保持技術を用いて開発した果物シャー ベット

①マーケティング戦略策定支援

テストマーケティング

- ✓ 試食・試飲の提供に加え、各社が来場者と直接対話する形式で実施。
- ✓ 商品・技術に対する率直な意見や利用シーンのヒアリング、価格帯や訴求ポイントに関する反応の取得など、定性的・定量的な検証を行った。



【(株)セツロテック】
独自酵母を活用したクラフトビール試飲と
ディスカッション



【(株)ウルバ】
酒ゼリーの試食とディスカッション



【(株)四国総合研究所／(株)富士クリーン】
国産生ライチのプレゼンテーションと試食



【(株)ゆうぼく】
はなが牛の試食とディスカッション

①マーケティング戦略策定支援

テストマーケティング

- ✓ 参加企業からは、商品価値の伝え方や表現方法に関する具体的な示唆、価格受容性や用途仮説の検証など、今後の事業展開や商品改良、販路開拓につながる学びが得られたとの声が寄せられた。
- ✓ 単なる試食イベントに留まらず、「仮説を持ち寄り、検証する」という一連のプロセスを実践する場として、参加企業自身のプレゼンテーションやマーケティング視点の強化につながった。

Sustainable Food Museum

フードテック領域のスタートアップをはじめとした、サステナブルな新食材に関連する厳選100企業の新たなアイデアやサービスを展示・紹介。
併設のカフェスペースでは、展示企業とのコラボメニューも提供。



サステナブルフード常設展示



カフェ / ランチ

出典：Sustainable Food Asia 株式会社HPより



【所在地】
東京都港区西新橋1丁目17-8)

①マーケティング戦略策定支援

ピッチイベント・展示会

【日 時】 2026年1月23日(金) 10:30～17:00

【場 所】 愛媛県県民文化会館「真珠の間」

【参加者】 188名

【次 第】 13:00 開会

13:05 基調講演「海藻で海も人もすこやかに」

合同会社シーベジタブル 共同代表 友廣 裕一氏

13:20 ピッチ（第一部）

株式会社ウルバ、株式会社セツロテック、株式会社富士クリーン、株式会社ゆうぼく

14:10 大学生プロジェクト

香川大学 創造工学部 サービスデザイン研究室、愛媛大学大学院 農学研究科

14:35 ピッチ（第二部）

大倉工業株式会社、四国計測工業株式会社、仙味エキス株式会社、
株式会社中温、株式会社ライスレジン

15:45 閉会



ピッチイベント



展示・交流会

②ブランディング

企業や商品の持つ強みの「可視化」、
四国のフードテックを盛り上げていくための求心力としてのブランディングを、
香川大学 創造工学部と共同で行う。

技術
ブランディング



< BtoB企業におけるブランディング意識の醸成 >

企業や製品が持つ技術を、開発者の想いやその技術が持つ強みなどを踏まえたブランディングを行い、顧客への訴求力を高める。

取り組み事例

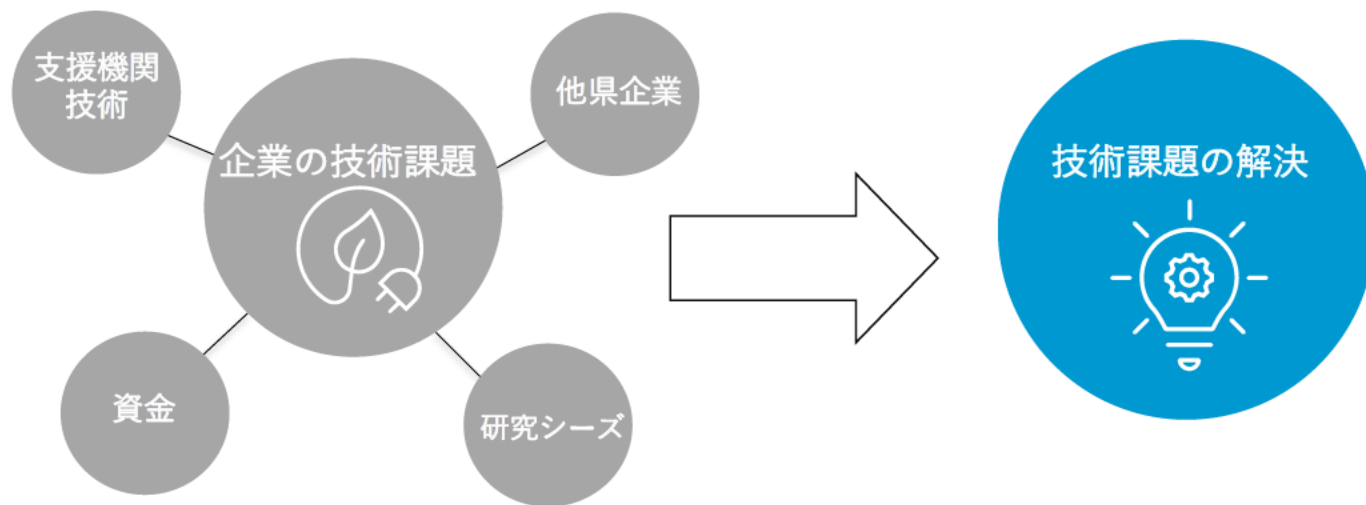
大倉工業株式会社
「加圧熱水抽出技術」



③コミュニティの形成

研究機関のハブ機能の構築

- ✓ 四国4県が連携し、技術課題の解決を加速する成果創出型の仕組みを構築。
- ✓ 単県では対応が難しい高度化する相談に対し、産総研・公設試・大学などの知見を面的に活用し、企業支援の質とスピードを高める。



▶ (令和8年度) 産総研と自走化検討

- ✓ 複数の技術やアイデアの組み合わせによって、これまでの枠組みを変えるような大きな進歩につながる案件を共同で支援・創出する。
- ✓ 日常的な情報共有体制の構築および、イノベーション案件についての検討会（企業訪問＋会議）を実施。

③コミュニティの形成

四国域内とのコミュニティづくり

Fantudio Takamatsu (タニコー株式会社)



- ✓ 厨房機器メーカー タニコー株式会社が、料理の未来を共に創り上げるための施設として令和7年7月に瓦町FLAG内に設立。
- ✓ 令和7年度は3回、フードイノベーションイベントを開催。
- ✓ 四国は食文化・技術が集まる「場」がないことが課題であることから、同施設と連携しながら、四国の食の価値の見える化を図る。

四国フードイノベーション拠点（場）づくり

愛媛大学 食品健康機能研究センター



- ✓ 令和7年度産学官連携交流会をSHIKOKUフードイノベーションサミットと同時開催。
- ✓ インターンシッププログラム「愛媛 Food camp」を4県に横展開、参加企業の拡大を目指す。

大学×企業の接点強化

産総研四国センター

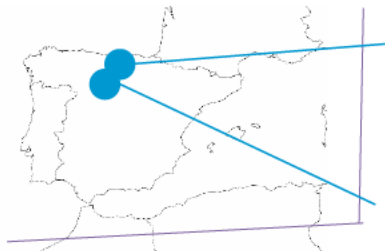


- ✓ 産総研一般公開、SHIKOKUフードイノベーションサミットなど相互のイベントに出展・参加協力。
- ✓ 定期的な情報連携を行いながら、四国の技術支援の中心的存在を期待。

技術支援の中核機関

③コミュニティの形成

域外拠点とのコミュニティづくり



モンドラゴン大学/
Basque Culinary Center
北海道フードイノベーションサミット
株式会社UnlocX
Food 4 Future
Next Business Exhibitions・AZTI

北海道
フードイノベーションサミット



Food 4 Future (スペイン)



モンドラゴン大学
(スペイン)



新潟フードテックタウン構想
オイシックス・ラ・大地株式会社

学研フードテック
共創プラットフォーム
京都府

フードテック市場
可能性調査
近畿経済産業局

OIC
和多屋別荘

和多屋別荘
(佐賀県)



SKS JAPAN (東京都)



帯広川西ICフードテックパーク
帯広川西ICフードテックパーク事業組合

東北食ビジネスに係る
知財活用促進事業
東北経済産業局

PIVOT
経済産業省

Sustainable Food Museum
Sustainable Food Asia

Gastronomy Innovation Campus Tokyo
東京建物株式会社

Sustainable Food
Museum (東京都)



& mog
三井不動産株式会社

Smart Kitchen Summit
株式会社UnlocX

東三河フードバレイ
サーラ不動産株式会社

フードテック官民協議会
農林水産省

Food em campus
(東三河)

